

夢のかけはし

高さ100cm
からの写真で
地域を元気に



昭和50年鹿屋市生まれ。本名 8堂園靖さん。大隅半島地区バリアフリーアドバイザー。22歳時に県外で交通事故にあい車いす生活に。現在は一般社団法人未来（吾平町下名）に勤務しホームページの運営等に携わる。趣味は車いすマラソン。（43歳）

写真を通して地域のまちづくり
に何か遺したいとの想いを持って
います。撮影するのは、大隅半島
の風景や花の写真、イベント写真
など。その日の空を見て、何を撮
ろうかと考えます。空は一度とし
て同じものがありません。毎日何
か写真を撮り、車いすから撮る写
真やバリアフリー・美味しいもの
などの情報を交えて、Facebook
やInstagramで紹介しています。
最近では、写真がきっかけで色々
な人や異業種の人たちとつながれ
るようになりました。

22歳の時、交通事故で重傷を負
い、車いす生活になりました。は
じめは落ち込みましたが、家族や
周囲の支えもあり、段々とリハビ
リに取り組むことができました。
元々趣味だった写真は半ばあきら
めていましたが、事故後に通つて
いたデイサービスの方に後押しし
てもらい、再挑戦することができ
ました。
バリアフリーのことを自分でも
発信したいと思つたきっかけは、
13年前にバリアフリーに関する県
の調査に協力し、現実の課題を実
感したことです。これまで、段差
が無い場所や高齢者・ベビーカー
が利用できるトイレの情報など、
約1,500件の施設を調査して
いますが、バリアフリーの整備や
関係者の意識改善など、やるべき
ことが多いと感じています。
今年7月に鹿児島市で開催され

大隅車いす写真家 YASUKURU さん

た「第8回バリアフリー観光推進
全国フォーラムかごしま大会」で
は、公式ガイドブックに写真を採
用していただきました。私の写真
を通して、障がいのある人たちが
出かける楽しさや目標を持つきっ
かけになればうれしいです。
地域に出掛け写真を撮る自分の
姿も見てもらふことで、福祉への
理解も深めてもらえればと思いま
す。鹿屋市のバリアフリーマップ
も欲しいですね。夢はたくさんあ
りますが、バリアフリーのフォー
ラムなどお互いに意見交換できる
場を、大隅で開いてみたいです。
今後「写心家」と「バリアフリー」
の2つのホームページを公開する
予定です。ぜひご覧ください。



【左】YASUKURUさんお勧めの霧島ヶ丘公園「かのやえんがわ」隣
の多目的トイレは、車いすの人が不自由なく使える設計に。【右】写
真は、ふるさと納税の返礼品「KanoyaKobito」に同封されている。

9月18日(火) 9時5分から FMかのや にYASUKURUさんが出演予定